

教科名	工業（土木）		科目名	土木実習
科目の目標	工業（土木）お各分野に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。			
履修学年	3学年	学科・コース	土木	
単位数	3単位	授業形態	実験・実習	
教科書	7実教工業335測量	副教材等	土木材料実験指導書（土木学会）	
1 学習の目標				
<p>実験・実習を通して、工業（土木）の各分野の基礎的な技術を体験します。 事故防止に努めながら安全に作業を行うための規則やルールを学びます。 実験・実習の方法、内容及び結果をより理解するために、報告書の作成を学びます。</p>				
2 学習内容と進め方				
<p>班やグループで学習を進めますので、互いに協力しながら作業を行います。 実験・実習を中心に学習を展開します。 基礎的な技術の体験後、応用実習に進みます。</p>				
3 学習の留意点				
<p>3学年の土木実習は、工業（土木）の総合力が求められる教科です。そのため測量、施工、土質など座学の基礎や今まで行ってきた実習・製図を再度確認して、進めることが重要です。</p>				
4 評価の方法				
<p>『関心・意欲・態度』『思考・判断・表現』『実習・実技などの技能』『知識・理解』などの評価の観点をもとに、学習活動の取組状況、測量（据付け・読取り）テストの成績に、レポートや課題の提出状況などを加えて、総合的に判断する。《測量（据付け・読取り）テスト・小テスト・レポートなど》</p>				
5 授業計画				
月	単元	学習内容	評価の観点	考查等
4月	コンクリートの配合設計	コンクリートの配合設計の基礎計算及び供試体作成	【関】 ・学習活動に積極的に参加しているか。 ・安全作業を意識し、適した服装をしているか。 ・互いに協力しながら、作業を行っているか。	この単元を自己評価してみよう A B C
6月	コンクリート圧縮強度試験	作成した供試体の圧縮強度をアムスラー試験機で調べる。		【思】 ・内容を理解して、実験・実習を行っているか。 ・機器を適切に判断し、使用しているか。 ・事故防止のための規則・ルールを守り、実験・実習を行っているか。
8月	製図	溶接記号	【技】 ・機器を適切に使用し、正しい測定ができたか。 ・期限を守り、提出物・報告書を作成できたか。 ・作成物を完成できたか。	この単元を自己評価してみよう A B C
	施工管理技術検定	過去問題の学習		この単元を自己評価してみよう A B C
10月	測量実習：単心曲線の測設	路線測量の基礎である道路の設計を行い、実習地内において測設を行う。	【知】 ・期限を守り、提出物・報告書を作成し、内容・結果を理解できたか。 ・各分野の基礎的な技術を体験し、理解できたか。 ・土木施工管理技術検定試験合格のための知識を積極的に取り組み・身につけ、検定内容を十分理解できたか。	この単元を自己評価してみよう A B C
12月	単心曲線の製図			この単元を自己評価してみよう A B C
2月	製図	プレートガーター橋		この単元を自己評価してみよう A B C

【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】は「技能」、【知】は「知識・理解」をあらわす。